

天皇陛下御即位記念

第34回国民文化祭にいがた2019

第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会

妙高市文化ホール開館30周年記念作品(平成25年12月1日世界初演)



あなたの胸に
コルハはわたしの心を残します

オペラ



びやっこ



わたしの胸に
葛の葉はあなたの心を抱きます



©Photo by Terufumi Ueno

《翻訳・台本・作曲/指揮》
平井秀明



《演出》
森山太



《コルハ/葛の葉》
國光ともこ



《保名》
芹澤佳通



《悪右衛門》
豊嶋祐壹



《乙女/狐の妖精/巡礼の女》
佐藤友美



《狩人/巡礼の男》
武藤正晃

オペラ「白狐」(全3幕・日本語版) ■原作：岡倉覚三(天心) "The White Fox" ■翻訳・台本・作曲/指揮：平井秀明

■演出：森山太 ■管弦楽：白狐スペシャルオーケストラ ■合唱：白狐合唱団・こぎつね合唱団 ■照明：矢口雅敏 ■舞台監督：富岡伸夫

■合唱指導：上野正人 ■公演プロデューサー：飯坂 純 ■制作協力：東京オペラプロデュース

2019年11月17日(日) 14:00開演 (13:30開場) 妙高市文化ホール 大ホール

一般 2,000円・高校生以下 1,000円 (税込/全席自由) (〒944-0046 新潟県妙高市上町9番2号)

※未就学児の入場は出来ません。保育ルームを設置しますので、希望される方は公演1週間前までに申し込みください。

プレイガイド

妙高市：妙高高原地区=妙高市観光協会 妙高地区=十二屋 新井地区=志保屋・西脇電気商会・文進堂・妙高市文化ホール
上越市：二葉楽器・上越ショッピングセンター アコーレ サービスカウンター

主催=文化庁、厚生労働省、新潟県、新潟県教育委員会、第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会、妙高市、妙高市教育委員会、第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭妙高市実行委員会、公益財団法人妙高文化振興事業団

共催=新井音楽協会、妙高白狐倶楽部

後援=久比岐野合唱連盟、にいがた妙高岡倉天心顕彰会、新潟日報社、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、信濃毎日新聞社、株式会社上越タイムス社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、JCV上越ケーブルビジョン・FMみょうこう、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM-J エフエム上越、新井有線放送農業協同組合

お問い合わせ先=妙高市文化ホール / tel. 0255-72-9411 fax. 0255-72-9412 / e-mail info@myoko-bunka.jp



善行を積み より高き転生を求めよ 仏陀の慈悲を信じて

音楽のために書かれた三幕の妖精劇 / 作 岡倉覚三 / 1913年2月 ポストンにて

日本の民間伝承では、狐は超自然的な力を持つと信じられ、人間の姿一特に若い乙女の姿を装うとされている。このような考えから、多くのロマンチックな物語が生まれた。この戯曲は、有名な信太の森の狐の伝説に基づいている。妻が不在の間、狐は彼女の姿となり夫と一緒に幸福に暮らす、本物の妻が戻り、偽の妻は悲しみのうちに去らねばならなかった。

■ 登場人物 ■

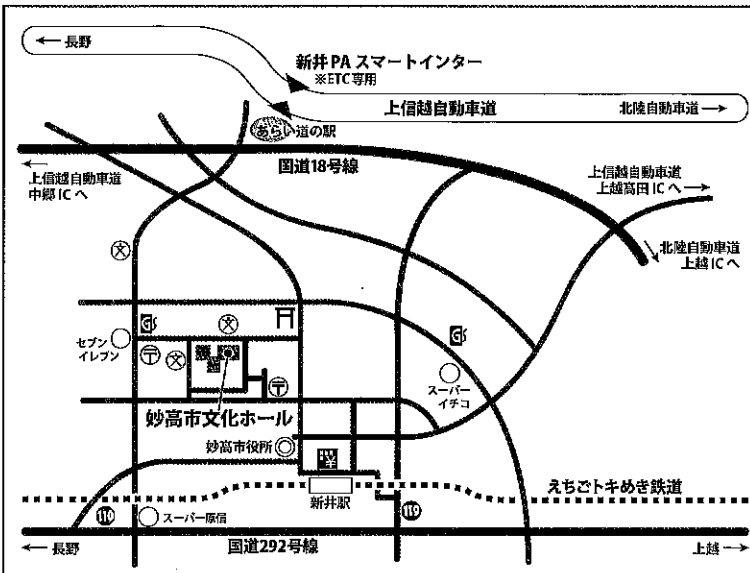
- コルハ … 白狐
- 保名 … 阿倍野の国守
- 葛の葉 … 保名の婚約者
- 悪右衛門 … 葛の葉を恋する魔法使いの武士
- 乙女たち … 葛の葉の侍女
- 狐の妖精たち … コルハの従者
- 悪右衛門に仕える狩人、兵士たち
- 巡礼 … 葛の葉の家臣
- コルハと保名の稚児

舞台は日本の中央の地。足利時代よりも昔、14世紀の終わり頃。



「オペラ『白狐』日本語版」は、岡倉天心が生涯で唯一書き残した英文オペラ戯曲「白狐」(原題“The White Fox”)を原作としています。岡倉天心は、東京美術学校(現・東京藝術大学)の創設者であり、世界的画家横山大観、菱田春草、下村観山らの師として知られ、日本近代美術の父とも言われており、妙高市赤倉温泉で1913年(大正2年)9月2日に永眠しました。その僅か数ヶ月前、彼はアメリカ合衆国ボストンで、このオペラ戯曲を書き上げました。オリジナル・テキストは、ボストンの有力者イザベラ・S・ガーディナー夫人に献呈され、チャールズ・M・レフラーによる作曲も決定していましたが、結局作曲されることはなく、オペラとしての上演が実現することはありませんでした。時は流れ2003年(平成15年)、茨城大学五浦美術文化研究所により、ボストン在住の作曲家・戸口純氏の作曲で、岡倉天心のテキスト(英語)を使い、全3幕中2幕の一部が試験的に上演されました。その後2007年(平成19年)12月8日、東京藝術大学創立120周年記念企画として、同じく戸口氏が前回の曲をベースに作曲し、一部映像とナレーションで繋ぐ形ながら「旧東京音楽学校奏楽堂」で英語での全編の上演が行われました。そして、岡倉天心が没してから100年の2013年(平成25年)、妙高市文化ホール開館30周年記念事業のメインプログラムとして、同ホールに於いて、新鋭作曲家・平井秀明氏によって新たに書き下ろされた、「新作日本語版」としての「全幕完全上演」という2つの意味をもつ世界初演が行われました。

新天皇が即位され、元号が「令和」に改まった今年、新潟県で初めて「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」が開催される機会に合わせ、この「オペラ『白狐』日本語版」を再演し、天心がこのオペラに込めたテーマ「愛と慈悲の心」を、天心終焉の地から再び多くの皆様に届けたいと思っています。



妙高市文化ホール

〒944-0046 新潟県妙高市上町9番2号
tel. 0255-72-9411 / fax. 0255-72-9412
e-mail: info@myoko-bunka.jp

●お車をご利用の場合

- 新井PAスマートインター (ETC専用) より約7分
- 上信越自動車道中郷インターより約15分
- 上信越自動車道上越高田インターより約15分
- 北陸自動車道上越インターより約30分

●電車をご利用の場合

- 北陸新幹線上越妙高駅下車
- えちごトキめき鉄道(妙高高原方面)に乗り換え、新井駅下車
- 徒歩で約10分、タクシーで約3分

※駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。